

製品安全データシート

販売者情報

会社 LECO ジャパン合同会社
住所 〒105-0014
東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号
住友不動産芝ビル 4 号館
担当 MSDS 担当者
電話番号 (03) 6891-5800 FAX 番号 (03) 6891-5801

製造者情報

会社 LECO Corporation
住所 3000 Lakeview
St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.

整理番号 02680

作成：平成 24 年 8 月 13 日

製品名（化学名、商品名等） **Diamond Oil Extender**

ダイヤモンド オイル エクステンダー

物質の特定

単一製品・混合物の区別		混合物		
化学名		エチレン グリコール	エチレングリコール モノブチルエーテル	メタノール
成分及び含有量(wt%)		>70	<20	<20
化学式又は構造式		C ₂ H ₆ O ₂	C ₆ H ₁₄ O ₂	CH ₄ O
官報公示整理番号	化審法	(2)-230	(2)-407	(2)-201
	安衛法	-	第 1 危険物、第 6 の 2 有機溶剤、第 18 条	第 1 危険物、第 6 の 2 有機溶剤、第 18 条
	消防法		第 2 条危険物第 4 類第 2 石油類水溶性液体	第 2 条危険物第 4 類ア ルコール類
	PRTR 法	第 1 種 43	対象外	対象外
CAS No.		107-21-1	111-76-2	67-56-1
国連分類及び国連番号		-	2810	1230

危険有害性の分類

[エチレングリコール]

分類の名称: GHS 分類

物理化学的危険性		健康に対する有害性	
火薬類	分類対象外	急性毒性（経口）	区分 5
可燃性・引火性ガス	分類対象外	急性毒性（経皮）	区分外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
支燃性・酸化性ガス	分類対象外	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
高圧ガス	分類対象外	急性毒性（吸入：粉じん）	分類対象外
引火性液体	区分外	急性毒性（吸入：ミスト）	分類できない
可燃性固体	分類対象外	皮膚腐食性・刺激性	区分 3
自己反応性化学品	分類対象外	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2B
自然発火性液体	区分外	呼吸器感作性	分類できない
自然発火性固体	分類対象外	皮膚感作性	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない	生殖細胞変異原性	区分外
水反応可燃性化学品	分類対象外	発がん性	区分外
酸化性液体	分類対象外	生殖毒性	区分 1B
酸化性固体	分類対象外	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分 1（中枢神経系、腎臓、心臓、呼吸器）
有機過酸化物	分類対象外	特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分 1（中枢神経系、呼吸器、心臓）
金属腐食性物質	分類できない	吸引性呼吸器有害性	分類できない
		環境に対する有害性	
		水生環境急性有害性	区分 3
		水生環境慢性有害性	区分外

シンボル	
注意喚起語：	危険
危険有害性情報：	飲み込むと有害のおそれ（経口）

	眼刺激。軽度の皮膚刺激。 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。 臓器（中枢神経系、呼吸器、腎臓、心臓）の障害。 長期又は反復ばく露による臓器（中枢神経系、呼吸器、心臓）の障害。 水生生物に有害。
注意書き：	【安全対策】 使用前に取扱説明書入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 ミスト、蒸気、スプレーを吸引しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。 環境への放出を避けること。 【応急措置】 取扱い後はよく手を洗うこと。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当を受けること。 皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を求めること。 ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当を受けること。 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。 飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。 【保管】 施錠して保管すること。 【廃棄】 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

*本製品は混合物であり、混合物としての GHS 分類は実施中のため単品の GHS 分類を記載しています。

 応急措置

飲み込んだ場合、死亡または失明の恐れあり。

目に入った場合	水で 15 分以上注意深く洗うこと。目の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。
皮膚に付いた場合	すぐに水と石鹼で皮膚を洗浄すること。汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。汚染を取り除けない場合は破棄すること。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。
吸入した場合	被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。必要に応じて、人工呼吸または酸素を与えること。医師の診断、手当を受けること。
飲み込んだ場合	グラス 2 杯の水を与え、吐かせます。医師の手当て、診断を受けること。
予想される急性症状	吸引した場合：気道の炎症、頭痛、吐き気、嘔吐。
及び遅発性症状	皮膚に付着した場合：皮膚の乾燥、炎症。 眼に入った場合：炎症、発赤、結膜の腫れ。 飲み込んだ場合：頭痛、めまい、吐き気、下痢、失明、死亡。 発がん性：なし

火災時の措置

可燃性	不燃性
引火点	84℃
引火性限界（体積％）	下限：1.1 上限：15.3
有害な燃焼生成物	一酸化炭素と二酸化炭素
消火剤	汎用または耐アルコール性泡消火剤、二酸化炭素、ドライケミカル
消火方法	注水消火厳禁
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

 漏出時の措置

すべての発火源を速やかに取り除く。

眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

換気の良い場所に容器を移す。

小火災 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収させて回収し、破棄する。

大火災 盛土で囲って流出を防止し、回収し、破棄する。排水溝、下水溝などへの流入を防ぐ。

 取扱い及び保管上の注意

取扱い 接触、吸入又は飲み込まないこと。換気の十分なところで扱うこと。取扱い後は、よく手を洗うこと。

保管 冷所で保管し、熱や火気から離して保管すること。使用していないときは、容器を閉めておくこと。

 ばく露防止措置

技術的対策 室温では通常の換気で十分だが、高温もしくはミストが発生するときは、換気装置を使用し、作業場から空気汚染物質を排気する。

呼吸器の保護具 適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具 PVC コーティングもしくはゴム手袋を使用すること。

眼の保護具 適切な眼の保護具を着用すること。

保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）

その他 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

 物理/化学的性質

物理的状態、形状、色など 透明な赤色の液体

臭い 独特

pH データなし

融点・凝固点 -13℃（融点）

沸点 140℃

蒸気圧 0.1 mm Hg@20℃

蒸気密度（空気 = 1） 2.1

比重（密度） 1.10

溶解度 水溶性

蒸発速度（酢酸ブチル = 1） 0.02

 安定性・反応性

安定性	安定
混触危険物質	硫酸、他の脱水剤、硝酸、酸素、過酸化水素、過塩素酸、三酸化クロム、他の強酸化剤、無水酢酸
危険有害な分解生成物	一酸化炭素/二酸化炭素
危険有毒な重合	なし

 有害性情報（エチレングリコール）

急性毒性	経口：致死量（人間）：1.6 g/kg 経皮：ウサギ：LD50 19 g/kg
------	--

 環境影響情報

データなし

 廃棄上の注意（エチレングリコール）

残余破棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託すること。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

 輸送上の注意（エチレングリコール）

国際規則

海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物

国内規制

陸上規制情報	消防法の規定に従う。
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物

特別の安全対策

危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。
危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。
危険物の運搬中危険物が著しく漏れる等災害が発生するおそれがある場

合には、災害を防止するための応急措置を講ずると共に、最寄りの消防機関その他の関係機関に通報すること。
移送時にイエローカードの保持が必要。

適用法令（エチレングリコール）

労働安全衛生法	名称等を通知すべき有害物 (法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9) (政令番号 第 75 号)
化学物質排出把握管 理促進法 (P R T R 法)	第 1 種指定化学物質 (法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1) (政令番号 第 43 号)
消防法	第 4 類引火性液体、第三石油類水溶性液体 (法第 2 条第 7 項危険物別表第 1)

その他

プロセスハザード：明らかな発火源がなくても、高温高压で動作中の装置から高温の有機化学蒸気やミストが突然放出されることにより発火することがある。

危険指数：(0-4, 4 = 最大)

健康：2 火災：2 反応性：0

参考文献

本製品の英文 MSDS(11/10/2010)	LECO Corporation
製品安全データシートの作成指針	日本化学工業協会
化学大辞典	東京化学同人
実用化学辞典	朝倉書店
労働安全衛生法 MSDS 対象物質全 データ	化学工業日報社
化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ	化学工業日報社

作成：平成 24 年 8 月 13 日

＊ 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。

尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。